

2024年度

JICA北海道教師海外研修 募集要項

Zambia

～ 今だからアフリカ!
世界一贅沢な
授業作りの旅へ ～

JICA北海道・東北合同開催

ザンビア共和国研修内容(案)

- 学校訪問、児童/生徒/教員との交流・インタビュー
- 地域住民との交流・インタビュー
- JICAプロジェクト現場視察、JICA海外協力隊現場視察
NGO活動現場視察

募集人数：8名



応募方法および応募締切

所定の用紙に必要事項を記入の上、設問への回答とともに『4.申し込み・問い合わせ先』宛に
2024年5月24日(金)17:00(必着)までにメール、郵送、もしくは直接JICA北海道(札幌)まで提出ください。
2024年6月7日(金)までに選考結果を通知する予定です。

主 催：独立行政法人国際協力機構(JICA)
担 当 機 関：JICA北海道
後援(予定)：外務省、文部科学省、北海道教育委員会、札幌市教育委員会

訪問国ザンビア共和国の基本情報

国名：ザンビア共和国

首都：ルサカ

言語：英語(公用語)、ベンバ語、ニャンジャ語、トンガ語

宗教：キリスト教(8割近く)、イスラム教、ヒンドゥー教、伝統宗教、その他

民族：73部族(トンガ系、ニャンジャ系、ベンバ系、ルンダ系)

面積：752,61千平方キロメートル(日本の約2倍)

人口：2,001万人(2022年：世銀)

教育：ザンビアの義務教育は、7歳から始まる初等教育(小学校)7年、中等教育(中学校)5年の計12年。

公用語は英語であり、他に73の民族語が話されていますが、学校教育では小学4年生時に母国語から英語での授業に切り替わります。

※外務省HPを参照し、記載(2024/4/12現在)



1：研修のねらい

本研修は、実際に開発途上国を訪問し、開発途上国の現状・課題、日本との関係、国際協力の現場を体験することで開発教育/国際理解教育について理解を深め、継続的に実践を行うことをねらいとしています。

また、研修参加者同士の意見交換や知見の共有を通して、研修後も継続してJICA北海道(札幌/帯広)と協力し、教育現場においてさらなる開発教育/国際理解教育の推進を図っていただくことも目的としています。

参加者の方には、事前・帰国後の国内研修と、開発途上国への海外研修を通じて、現地で得られる情報・素材を活用した指導案の作成とその授業実践を行っていただきます。また、広く教育関係者へ開発教育/国際理解教育の重要性を発信するために、成果報告会を実施します。

2：参加資格

- ① 北海道内の国立/私立の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・高等専門学校・特別支援学校に勤務する教員で(ア)授業もしくはクラブ活動等で国際理解教育を実践されていて、今後も継続する意思と計画がある方、または(イ)現在実践はしていないが、今後JICAと連携・協力しながら開発教育/国際理解教育の普及促進に貢献する意欲と計画がある方
- ② 所属する学校長からの推薦がある方
- ③ 開発途上国での研修旅行に耐えうる健康状態の方
- ④ 本研修の趣旨・目的を十分理解し、海外現地研修及び国内で実施される事前・帰国後研修、成果報告会の全日程【3.研修日程(予定)参照】に参加可能、かつ積極的に取り組める方
- ⑤ 帰国後、2024年11月下旬までに本研修で作成した指導案に基づき、勤務校等にて授業が実践できる方
- ⑥ 必要提出物をJICAが設定する期限までに提出できる方
- ⑦ 研修報告書及び授業実践報告、研修中(派遣前・帰国後を含む)や、勤務校等での実践授業の様子を撮影した写真/映像をJICA事業広報のために使用することに同意できる方
- ⑧ 原則として、過去にJICA教師海外研修、JICA海外協力隊、JICA専門家、ODA民間モニター、国際協力レポーター等、外務省やJICAから海外に派遣された経験のない方 ※教師国内研修参加者については応募可
- ⑨ 将来的にJICAが実施する国際理解教育支援事業での講義等の協力が可能な方
- ⑩ 連絡可能なメールアドレスを所有し(携帯メール不可)、JICAが管理するSNSやメーリングリストに登録可能な方 ※研修に係る情報共有や帰国後のネットワーク等にて活用

3:研修日程(予定)

研修事項	場所	日程	内容
第一次事前研修	オンライン 合同研修	2024年 6月22日(土)	<ul style="list-style-type: none">◆国際協力の意義、現状と課題◆開発教育の目的、現状と課題◆教師海外研修の概要説明◆研修中の健康・安全管理、旅行保険等について◆JICA東北・JICA北海道顔合わせ◆訪問国事情◆ザンビアの概要、研修日程についての説明◆海外研修を踏まえた指導案作成・授業実践について
第二次事前研修	調整中	2024年 7月13日(土)、14日(日)	<ul style="list-style-type: none">◆旅程確認、現地での活動準備、渡航手続き等◆開発教育/国際理解教育指導者研修【実践編】
海外研修	東京・ ザンビア 共和国	2024年 7月27日(土)～ 8月5日(月)	<ul style="list-style-type: none">◆学校訪問、児童/生徒/教員・地域住民との交流やインタビュー、JICA海外協力隊活動視察、JICAプロジェクト現場視察、NGO活動現場視察等
帰国後研修	調整中	2024年 9月上旬～中旬	<ul style="list-style-type: none">◆指導案検討会◆研修参加者は指導案を作成、他の研修参加者および関係者と指導案を共有、意見交換
授業実践	各所属校	2024年9月上旬～ 11月下旬	<ul style="list-style-type: none">◆各所属校にて授業実践◆アドバイザー、JICA職員による授業モニタリング
成果報告会	調整中	2024年12月～ 2025年1月初旬	<ul style="list-style-type: none">◆成果報告会を一般公開し、研修参加者の研修報告および授業実践報告を行う◆開発教育/国際理解教育指導者研修【共有編】
成果品の作成		2025年3月末	<ul style="list-style-type: none">◆研修参加者の海外研修報告書および授業実践報告書を基に成果品として学部向け報告書を作成し、関係者に配布(電子版および簡易製本版)

4:申し込み・問い合わせ先

〒003-0026 北海道札幌市白石区本通16丁目南4-25 JICA北海道(札幌)内
公益社団法人 青年海外協力協会 教師海外研修担当 (JICA業務委託先)
TEL:011-866-1515 FAX:011-866-1516 Email:hokkaido@joca.or.jp

5：参加費用

区分	個人負担経費	JICA負担経費
国内	<ul style="list-style-type: none"> ◆パスポート取得にかかる費用 ◆事前・帰国後研修、成果報告会参加における食費等 ◆予防接種費用(黄熱病等) ◆その他、個人的な費用 	<ul style="list-style-type: none"> ◆事前・帰国後研修、成果報告会参加のための国内移動(自宅から研修場所)にかかる旅費 ◆事前・帰国後研修、成果報告会にかかる宿泊費(超過分は個人負担) ※研修当日、居住地の都合により、早朝深夜の移動となる方のみ対象 ◆海外研修への国内移動(自宅～羽田もしくは成田空港)に係る旅費、空港使用税 ※交通費、宿泊費はJICA規定に基づきお支払いします。(経済経路)
海外	<ul style="list-style-type: none"> ◆海外研修中の食費および宿泊費(全旅程で12万円程度。為替相場により変動する場合があります。) ◆追加保険の加入費用 ◆その他個人的な費用 	<ul style="list-style-type: none"> ◆訪問国(ザンビアを予定)への入国に必要な査証申請のための費用 ◆往復航空運賃および燃油サーチャージ ◆羽田もしくは成田空港および海外での空港使用税 ◆往復航空券手配にかかる手数料 ◆海外旅行損害保険加入費 ◆現地視察に必要な費用(車両備上等)

6：その他、注意事項

- ◆本研修には、ツアーコーディネーターは同行しないことから、ご自身で情報収集をしていただく必要があります。
- ◆参加者の研修中の扱い(年休/研修等)については、所属先の判断によりますので、ご自身でご確認をお願いします。
- ◆本研修では、JICAにおける労災保険等の適応はありません。所属先の業務出張扱いで参加される場合は、各所属先の責任において、参加期間中の公務上災害に対する補償処置を行ってください。
- ◆研修の参加者として選考された後においても、JICAの指示に従わない方、他の参加者へ迷惑をかける方、研修プログラムに参加できない方、期日までに提出物の提出ができない方については、国内外での研修期間を問わず、研修参加者としての資格を失うことがあります。特に海外研修中に研修対象者としての資格を失った場合、旅費・滞在費等に係るキャンセル料等は、全額自己負担となります。また、帰路の旅費も自己負担となりますので、ご了承ください。
- ◆海外研修中に事故が起こった場合、海外旅行保険の範囲内において補償します(国内での研修は除く)。
- ◆研修実施国の諸事情により、予定していた研修プログラムが変更になる可能性があります。
- ◆本研修を通じて作成・提出いただくレポートや写真等の資料一式は研修参加者間の相互の学びのため、全研修参加者に共有いたします。また、広く他の教員の方々にもご参照・ご活用いただけるよう、JICAのHP、メールマガジン、その他各種広報誌等を通じてご紹介させていただく場合がございますので、可能な範囲でご協力をお願いいたします。
- ◆応募時にいただいた個人情報、利用の可否を確認のうえ、本研修以外のJICAの研修やイベントの情報提供に使わせていただく場合があります。いただいた個人情報は、JICAの内部規程(個人情報保護に関する実施細則)に基づき、適切に管理いたします。
- ◆JICAの開発教育/国際理解教育及び研修のさらなる充実、改善に生かすため、参加者の研修後の開発教育/国際理解教育への取組について、後日アンケートを実施しますので、回答へのご協力をお願いいたします。

教師海外研修の流れ

参加決定から成果報告会まで研修の流れをご紹介します。



海外研修に向けた準備

派遣前研修では、訪問国の現状、開発課題等への理解を深めると共に、現地研修での「視点」について考えます。

また、国際理解教育指導者研修に参加いただき、研修後の授業立案や実践のためのスキルアップを図ります。



海外研修

学校訪問、JICAプロジェクト現場の視察、JICA海外協力隊との意見交換、現地の人々との交流等を通じて、訪問国の現状、そして、開発途上国をとりまく状況について様々な角度から考えます。



授業実践に向けた準備

帰国後研修では、訪問国で得た体験や資料をもとに指導案を作成し、意見交換をしながら検討を重ねます。



授業検討

海外研修の成果を形にする過程を通して、教員間の生きたネットワークをつくることができます。



授業実践

国内外での研修を通じて作成した指導案に基づき、各所属校において授業実践を行い、指導案の更なる改善を図ります。

成果報告会

国内外での研修、授業実践を行った成果を教育関係者や一般の市民を対象とした報告会を行います。

※過去の参加者による指導案はQRコードよりご参照ください。
2021、2022年度は代替研修として国内研修を実施しました。



★国内研修



★海外研修

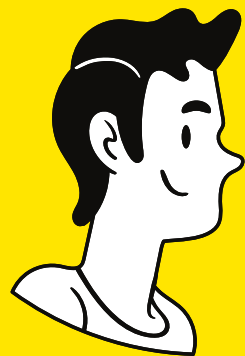
2023年度参加者の感想

「参加してよかったことは
何ですか？」

いろいろな職種や
校種の方と出会えた！
普段ではできない
つながりがもてました。

アクティビティの
手法を知れたこと。

海外の視点から、
日本を見直すきっかけ
になった！



人生において
教材づくりを主眼に
旅をすることは
まず起こり得ない！

異文化理解の楽しさを
改めて実感して、
子どもたちに
伝えられたこと。

なぜ、「今だからアフリカ」なの？

アフリカの開発をテーマとする国際会議

『アフリカ開発会議(TICAD)』が去年

30周年を記念し、日本でさまざまなイベントを行いました。

次回の会議(TICAD 9)は2025年の8月に横浜で開催予定と、

今、日本のアフリカ熱が高まっています！

アフリカの推しポイント



【アフリカ布】

東アフリカでは「カンガ」、
西アフリカでは「パーニュ」と呼ばれています。
スカートから赤ちゃんのおんぶ布(紐)など、
使用用途はさまざま。

奥深いアフリカ布は教室で話題になること間違いなし！



【アフリカ料理】

現地に行って、初めて食べたときの感想をメモし、
最後に同じものを食べたときの感想と比較するのは
いかがでしょうか。

煮込み料理は絶品！食べた後に力が湧いてきます。
食べ方を覚えるのも大事！



【アフリカ楽器】

素朴な材料で音を奏でる楽器は、
創意工夫がこなされていて学ぶところが大きい！
エコで楽しめる教材です。